

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成23年 12月 4日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4690300159号
法人名	株式会社 ケイシン
事業所名	グループホーム ことぶき太陽の家
所在地	鹿児島県鹿屋市笠之原町3番44号 (電話) 0994-40-9635
自己評価作成日	平成23年12月4日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年12月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

木々に囲まれた静かな環境にあり、木造建てでゆったりとした雰囲気があります。利用者様、ご家族、地域の方々とのつながりや、明るく楽しい雰囲気をたいせつにし、外出行事には、ご家族にも参加して頂き、お互いの交流を深めています。利用者様が生活の中で出来る事をして頂くことにより、生きがいを持って生き生きとした暮らしを送って頂けるような支援をしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は優しく暖かさを感じる雰囲気の明るいホームである。入居時、車椅子だった利用者に自立歩行の意欲を持たせ、少しづつではあるが訓練の成果がみられ歩行可能になるなど理念に沿ったケアの実践ができています。地域との交流も積極的に地域の防災訓練の際にホームから出火したとの想定で合同訓練を行い、ホームの良き理解者、協力者を増やす機会になっている。また、町内会の行事(花見、敬老会等)にも招待があり、利用者も地域の一員としての参加ができています。この他、利用者の出身地へ選挙投票に行くなど、馴染みの人や場との関係継続の支援となるよう工夫もされている。年、2回の家族交流会として食事会を行い利用者、家族が共に楽しむ場を提供している。重度化、看取りの対応も指針を作成し明確化している。ホームに入居してから、自立した食事や、トイレ使用が出来るようになったり、歩行が可能になるなど利用者、家族はもちろんの事、職員の喜び、励みになっている。利用者の残存能力を活かし、自立した生活が送れるよう配慮しているホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	利用者が残存能力を十分に活かし、その人らしい生活ができるよう支援し、地域に根ざした介護ができるよう努めている。	理念は玄関やホールに掲示し、職員の意識付けを図っている。理念の実現に向け、利用者の意欲を引き出し自信と喜びに繋げるケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に入り、行事や地域で行われる催しものに参加している。日常的に近隣の方との関わりを大切にしている。	町内会に入り、総会や清掃作業に参加したり、回覧板を届けたりしている。町内会の花見や敬老会の招待を受けており、利用者も参加している。近所の子供達も気軽にホームに立ち寄り、利用者と触れ合っている。保育園児との交流、中学生の職場体験実習や高校生のボランティアも受け入れている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の方から介護に関する質問等ある際は、その都度説明させて頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一度運営推進会議を開き、出席者のご意見やアドバイスを頂き、ホームが運営する上でより良いサービスを提供していけるよう大切な意見交換の場となっている。	家族や地域住民代表、行政参加を得て定期的に開催している。ホームの活動内容、研修、防災訓練の報告がされている。会議の中で、家族からホームの奉仕作業提案を受けるなどホームの理解者を増やす会議になっている。会議の内容は毎月の便りで全家族に報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>サービスの質の向上に取り組む為にかかれば相談し、助言を頂いている。運営推進会議の際にも相談にのって頂いている。</p>	<p>運営推進会議への参加や事故などの報告、相談、研修案内など協力関係を築いて連携を図っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>日々の生活の中で居室、玄関等に施錠しないようにしている。身体拘束に関するホーム内の勉強会は年に2回は行い、毎月身体拘束をしないケアの確認を行っている。</p>	<p>契約書などにも、身体拘束をしないケアの実践について明記している。またホーム内で勉強会を開き、毎月のミーティング時に確認し合っている。日中は施錠せずに自由な生活を支援している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待に関しても勉強会を開き、身体的虐待のみならず、心理的虐待、ネグレクト等の知識を高め、職員の意識を図り、虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>対応が必要と思われる場合には必要性を関係者と話し合い、関連する機関に連絡をとる等して利用者の支援に結び付ける体制を整えている。</p>		

鹿児島県 グループホーム ことぶき太陽の家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には契約内容をわかりやすく説明している。また、契約解除する場合には、利用者家族に十分な説明と話し合いを行い理解を得るようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者や家族が意見や要望を出しやすいよう、玄関に意見箱を設置している。</p>	<p>重要事項に第三者委員も明記し、面会や電話連絡時には職員が家族の意見や相談事を聞きだす様にしている。家族交流会も年2回実施し、活発な意見や提案をもらっている。ホームの清掃活動の提案も出され、実現に向けて取り組んでいる。家族が意見を言いやすい環境作りに努め運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に1回ミーティングを開き、職員の意見や要望を聞く機会を設け、職員の気づきなどを運営に反映するよう努めている。</p>	<p>利用者の入居時には、職員のケアの方針について意見を聞いて利用開始に活かしている。職員体制の見直しなど、各担当者からの気づきがサービス向上に結び付けられるよう意見を反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員個別の努力実績を把握すべく努めている。勤務状況は毎月把握しており、労働時間や給与水準など向上心を持って働けるよう努めている。</p>		

鹿児島県 グループホーム ことぶき太陽の家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>可能な限り、内外の研修参加の機会を作り、意欲の向上に努めている。ヘルパー2級についても資金援助を行っており、レベルアップに努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者の職員間で話し合う場を作っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人やご家族からの必要な情報に耳を傾け、利用者が安全に安心した生活を送れるよう努力し、職員との信頼関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の方からの相談や要望も切実に受け止め、少しでも不安が解消されるよう心掛けている。また、サービス開始後も不安・不満な点がないか要望にも耳を傾けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期相談を受けた時は、本人や家族が必要としている支援を第一に考えてサービスを利用させていただくように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者に食事の下ごしらえを手伝っていただき、また野菜作りをして共に収穫している。洗濯干しや洗濯物たたみを積極的に手伝ってもらっている。		

鹿児島県 グループホーム ことぶき太陽の家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	事業所での夏祭り等の案内を家族に送り、参加していただきともに食事を楽しんでいただく等している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの場所に出かけ、本人の思い出を大切に途切れないよう、一人ひとりの必要性に応じて支援をしている。	自宅訪問や買いもの、地域の敬老会に同行している。各利用者の出身地へ選挙投票に出かける事で昔なじみの人に声をかけられ、人や場との関係継続の絶好の機会となるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者それぞれの個性や今まで生きてこられた経緯を重んじながら、集団生活が利用者同士、よりよい関係が築かれるよう職員が間にはいたりしながら支援させて頂いている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても必要の時には、情報提供など出来る事はさせて頂き、相談や支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人との会話の中から聞き出すことが最良ですが、困難な場合家族の意見も聞き、話し合いながら取り組んでいる。	利用者の嫌がる事や好む事を日常の会話や行動・表情から把握できるように配慮している。夜勤帯は、個々の心身の状況に応じ、時間をかけ落ち着いて、ゆっくり思いを聞く機会としている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にできるだけ把握するようにしているが、入居後日々接する中で気づいた事を参考にケアに活かしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝、バイタルサインチェックを行い、顔色、表情の観察等から変化に気づくよう努めている。また、日々の生活の中で出来る事をしていただいている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者や家族の思い、職員の気づきや意見を踏まえたうえで、利用者がより良く暮らせるような介護計画を作成している。	ミーティングで担当者からの「気づき」を話し合う機会を持ち、計画導入を図っている。趣味活動、野外活動の支援など個々の身体・心身状況に応じて現状に即した介護計画を作成している。	

鹿児島県 グループホーム ことぶき太陽の家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日中の様子、夜間帯の様子、ケア内容等を個別に記録し、勤務交代時に申し送りを行い、気づいた事や情報の共有に努めている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>出来る限り必要性に応じて個別ケアなど対応している。併設事業所にくるリハビリ踊りや3B体操に参加している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>併設事業所（保育園）からの訪問を受けたり、運動会に行く等し、地域の敬老会にも参加している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。家族に受診時の協力をいただいているが、付添が難しいときは、職員が付き添っている</p>	<p>本人や家族の状況に応じて受診支援を行っている。看護師も常勤し利用者の健康管理が行われている。医療連携体制を取っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	職員に看護師と准看護師がおり、利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	主治医やソーシャルワーカーと連絡を取り、回復状況等の情報交換を行い状態を確認している。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入居時に、重度化した場合や終末期のあり方について説明を行っている。利用者の状態に応じ家族と話し合い、職員間で対応方針を共有し、利用者が満足できるように支援している。	看取り及び重度化に関する指針を作成し、家族の同意書もある。状態に応じてその都度確認、話し合いをしている。職員の力量を上げるための勉強会と体制づくりに取り組んでいる最中である。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	AEDの使い方や急変時の対応方法等、定期的に講習をうけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防に避難訓練の指導をして頂き、避難方法の確認を行っている。近隣の方にも協力を頂き訓練を行っている。</p>	<p>防災訓練の出火元となり、地域と共に避難訓練を行っている。スプリンクラーや地域の人も登録されている緊急自動通報システムも設置されている。消火訓練や各居室には避難済みの見安になるよう、札を下げるなど工夫をしている。備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全室個室であり、プライバシーは保たれている。また、一人ひとりそれぞれに合った言葉での話し方や声掛けをするように、心掛けている。	日常ケアの中で気付いたことはその都度話し合い、意識付けを行っている。特に言葉かけには配慮を促している。優しい声掛けに職員の認識を感じる情景が多々見られる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で、コミュニケーションをとりながら、自己決定ができる支援や環境作りを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとり、自分のペースで生活できるよう配慮している。時々、買い物やドライブに出かけ、気分転換もできるように心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	一人ひとりの好みを把握し、それに合った洋服を選びを、ご自分でされる方もいれば、職員と一緒にされる方もいるので、話をしながら支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食前は、野菜の皮むきを、食後は、お膳拭きや台拭きをしていただいている。	家庭菜園でできた食材を調理したり、外食など楽しんでいる。家族交流会では食事会をひらき、利用者や家族共に楽しんでいる。利用者の身体状況に合わせた食事形態、好みの献立になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る	食事量・水分摂取量の記録を毎 日とり、栄養・水分不足になら ないように気をつけている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の 力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人ひとりの口内の状 態に応じた口腔ケアを実施して いる。場合によって、歯科医に 往診して頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣 を活かして、トイレでの排泄や排泄の自 立に向けた支援を行っている	トイレでの排泄を大切にし、紙 パンツ・尿パット類も本人に合 わせて検討している。また、 個々の排泄パターンを把握し、 時間をみてトイレ誘導を行って いる。	オムツ使用の利用者がトイレで の排泄が可能となり、職員の励 みになっている。夜間のみポー タブルを使う利用者や介助を必 要としない利用者も数名おり継 続できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、個々 に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防のための食材やメ ニューを工夫している。ラジオ 体操や散歩等で体を動かし、水 分も十分に補給している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は曜日を決めているが、希望に応じてその都度それに対応している。入浴を拒む方には、声掛けや対応を工夫している。	週3回が基本であるが、希望があれば毎日でも可能である。時間帯も希望に合わせて支援している。入浴をいやがる利用者にもタイミングを見て誘導している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は一人ひとりの状態に応じてその都度対応しています。寝具は馴染みの物を使用しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	名前と薬袋を確認して飲み終えるまでしっかり見守りしている。処方薬の変更があった場合には、連絡ノートに記載して周知徹底を図るようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの状況を見ながら、出来る事はなるべくして頂くようにして、残存能力の維持に努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	年間の行事計画で花見・食事会・ミカン狩り等外出支援を行っている。また、買い物・ドライブなど利用者の希望に添って、外出している。	天気の良い時はホーム周辺を散歩して近所の小学生と交流している。週2回はごみ運びをかねたドライブや買い物ドライブなど楽しんでいる。2ヵ月に1回の割合で外出できるよう年間行事計画を掲げ、外出支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>基本的には、事業所で管理しておりますが、少額の金銭を持っておられる方もいらっしゃいます。一人ひとりの管理能力に差があるため、個々に応じて対応しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話の希望がある場合はその都度対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用スペースには、テレビ・テーブル・こたつ・ソファがあり、機能的に配置し、解放感がある。時間によっては、静かな音楽を流し、穏やかな気分を保てるよう心掛けている。</p>	<p>共用空間のダイニングやリビング、廊下やトイレ、浴室など広々とした造りで車椅子でも十分可能な広さが確保されている。リビングからすぐにテラスに出られる設計で開放感がある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファを2か所に配置して、寛げるスペースをつくっている。テレビを見たり、仲の良い利用者同士がお喋りできるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具を持ち込まれたり、写真を飾ったりして、利用者が過ごしやすい居室になっている。	各居室に洗面台も設置されている。身の回りのものや写真、飾り物を置いて利用者の好みに応じた居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの残存能力を活かすよう、出来る事はなるべく本人にして頂いています。また、自立した生活が送れるよう配慮しています。	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない